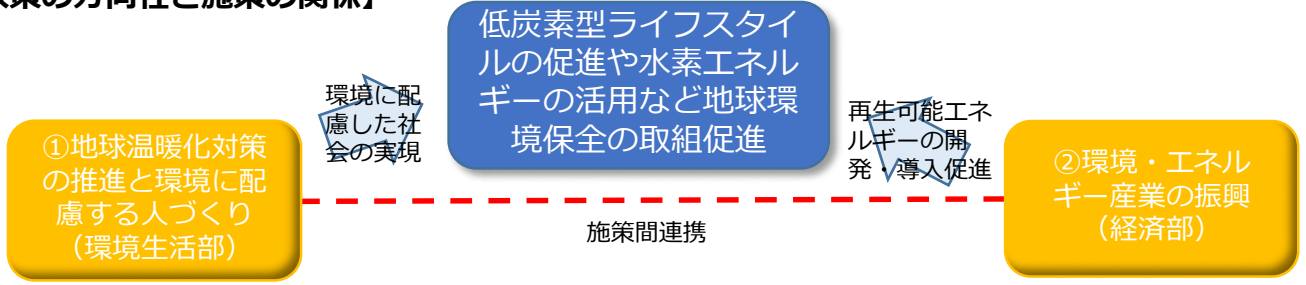


1 分野：生活・安心
 (4) 政策の柱：環境への負荷が少ない持続可能な社会の構築
 A 政策の方向性：低炭素型ライフスタイルの促進や水素エネルギーの活用など地球環境保全の取組促進

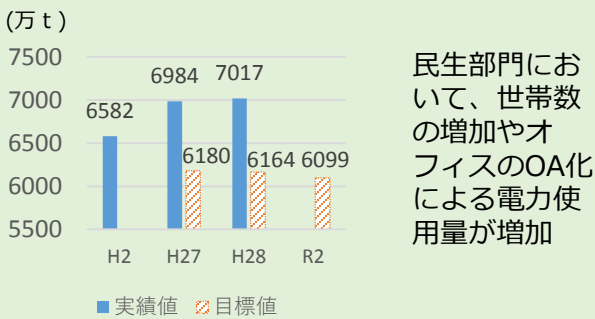
【政策の方向性と施策の関係】



施策名	課題等	主な取組 《内はコロナの影響》	総合評価
①地球温暖化対策の推進と環境に配慮する人づくり(※)	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス排出割合が高く、道民一人当たりの排出量は全国平均よりも高い 多くの再生可能エネルギー賦存量を有しているが活用が不十分 環境に配慮したライフスタイルの定着を図ることが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境学習講座への講師派遣などによる、環境教育の推進、環境教育指導者等の育成、自主的な環境学習の支援 ○地球温暖化防止活動推進員の講師派遣 ○省エネ3Sキャンペーンの展開 ○水素エネルギー利活用の普及啓発《PRイベント、セミナーの中止等》 	効果的な取組を検討し引き続き推進
②環境・エネルギー産業の振興(※)	<ul style="list-style-type: none"> 将来にわたり、エネルギーが安定的に供給されることが重要 エネルギーの地産地消の促進などエネルギー資源を最大限に活用する取組を進めることが必要 環境産業の育成・振興を図ることが重要 	<ul style="list-style-type: none"> ○北海道新エネルギー導入加速化基金を活用した地域のエネルギー地産地消の取組を支援 ○環境関連技術開発の事業への補助 ○水素関連産業の形成促進に向け、実証事業誘導や道内企業の参入支援《セミナー、道外展示会の延期等》 	効果的な取組を検討し引き続き推進

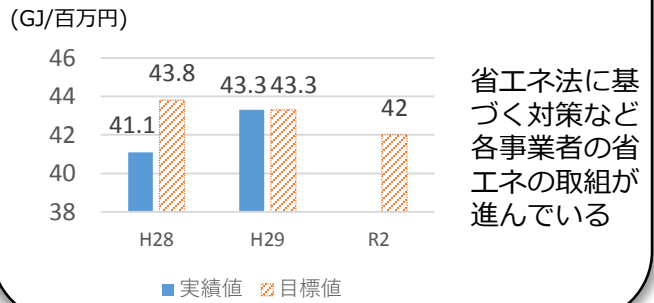
【総合計画の指標】

温室効果ガス排出量(万t-CO₂) (施策①②)



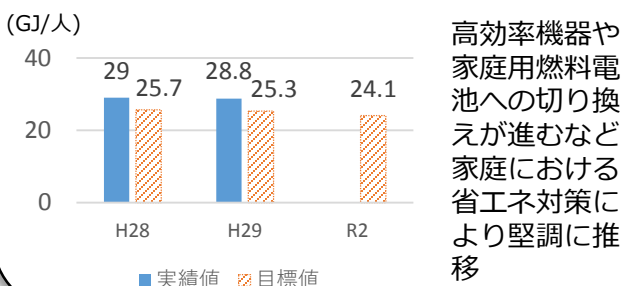
【関連指標】

エネルギーの効率的利用の目標【産業部門】
 エネルギー消費原単位(GJ/百万円) (施策②)



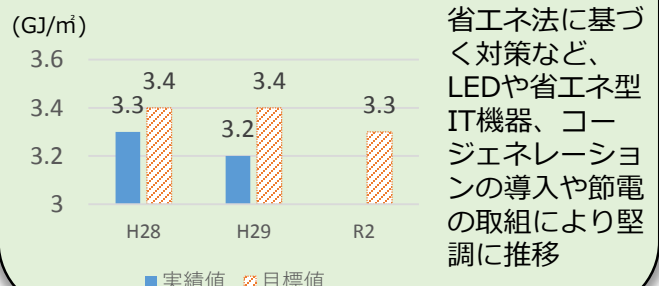
【関連指標】

エネルギーの効率的利用の目標【家庭部門】
 エネルギー消費原単位(GJ/人) (施策②)



【関連指標】

エネルギーの効率的利用の目標【業務部門】
 エネルギー消費原単位(GJ/m²) (施策②)



【ほか2つの関連指標】

(※) はコロナの影響等があった施策

【施策の詳細については、評価調書をご覧ください】

<総合計画施策推進状況>